

## 2023年度 ニチキッズさっぽろ駅北口保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年1月10日（水）～1月31日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月22日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化して改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	保育理念「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」を基に日々の活動や遊びについて職員間で話し合い、振り返りを行いながら、個人、月齢や年齢、発達に応じた体験ができるよう努めた。
子どもの発達援助	不定期ではあるがコーナー保育の環境設定を変更し、保育計画に捉われず発達や年齢、子どもの姿に合った保育を心掛け、全職員で同じ援助ができるよう子どもの共通認識に努めた。
保護者に対する支援	送迎時や個人懇談での連携を日頃から職員間で共有し、日々の保育に活かすことができた。また、希望に応じて英語レッスンへの参加や離乳食の進め方のアドバイスなど、状況に応じた支援を行うことができた。
保育を支える組織的基盤	職員会議や園内研修、キャリアアップ研修での学びや気づきを自園の中で活かすため、保育の進め方を話し合った。また、同エリア内保育士による保育業務支援からも直接的に学ぶ機会をもつことができた。

総評
個々の子どもの育ちや発達段階を職員間で共有する機会を持ち、共通認識を持った関わりや援助を心がけると共に、クラス活動や異年齢保育に活かすために保育環境の整備を意識し保育を行ってきた。子どもたちが安心安全な保育環境のもと、楽しく安定した園生活を過ごすことができるよう職員が力を合わせることで、子どもたちと同じ目線で歩むことができた。